

共友リース株式会社 第1回無担保社債

【サステナビリティボンド概要】

サステナビリティボンド（sustainability bond）とは、調達した資金を環境面（グリーン）と社会面（ソーシャル）両方の目的に使うことをあらかじめ定めた債券のことです。

名称	共友リース株式会社 第1回無担保社債(適格機関投資家限定)
発行年限	10年
発行額	30億円
発行日	2022年11月29日
償還期日	2032年11月26日

資金使途

下記記載のグリーンプロジェクト及びソーシャルプロジェクトに係る新規ファイナンス資金又はリファイナンス資金。

プロジェクト	対象事業	カテゴリー	関連する SDGs
グリーン	太陽光による 再生可能エネルギー	再生可能エネルギー	
	省エネルギー性能の高い 機器及び設備の導入	エネルギー効率	  
ソーシャル	小中学校における 教育 ICT 環境の整備	必要不可欠なサービスへのアクセス 対象とする人々:子ども	
	住宅型 有料老人ホームの提供	必要不可欠なサービスへのアクセス 対象とする人々:高齢者	 

適合性に関する第三者評価

本サステナビリティボンドについては、国際資本市場協会（ICMA）のグリーンボンド原則（GBP2021）、ソーシャルボンド原則（SBP2021）、及びサステナビリティボンド・ガイドライン 2021、環境省のグリーンボンドガイドライン（2020 年版）並びに金融庁のソーシャルボンドガイドライン（2021 年版）に照らし、その適合性について、株式会社格付投資情報センター（R&I）より外部評価を取得しております。

R&I セカンドオピニオン

【レポートिंग】

資金充当状況

本サステナビリティボンドの調達資金については、全額を 2023 年 3 月までに充当済です。対象プロジェクト毎の資金充当額は、以下となります。

プロジェクト	対象事業	資金充当額
グリーン	太陽光による 再生可能エネルギー	4 億円
	省エネルギー性能の高い 機器及び設備の導入	13 億円
ソーシャル	小中学校における 教育 ICT 環境の整備	9 億円
	住宅型 有料老人ホームの提供	4 億円

環境改善効果

対象事業	環境改善効果	
太陽光による 再生可能エネルギー	発電総量	2,805MWh/年
	CO ₂ 排出削減効果相当量	1,418t-CO ₂ /年
省エネルギー性能の高い 機器及び設備の導入	CO ₂ 排出削減効果相当量	3,278t-CO ₂ /年??

※2025年3月現在、推計値

社会的効果

対象事業	アウトプット		インパクト
小中学校における 教育 ICT 環境の整備	小中学校向けタブレット端末の提供数	10,796 台	すべての子どもが平等に 教育機会を得られる社会の実現
	タブレット端末を利用する学校数	14 校	
住宅型 有料老人ホームの提供	住宅型有料老人ホーム等の件数	1 件	住宅型有料老人ホームの 整備・拡充に対する社会的ニーズに貢献
	総居室数	33 室	

※2025年3月現在